

主題：
諸召会における失敗、召会の墮落、
召会における勝利者、召会の回復、召会の各段階

メッセージ 13

召会の各段階

(2)

スマルナに在る召会とペルガモに在る召会

聖書：啓 2:8-17

I. スマルナに在る召会は、迫害の苦難の下にある召会でした——啓 2:8-11：

- A. ギリシャ語で「スマルナ」は、「没薬」を意味します。没薬は甘い香料であり、しるしにおいて、苦難を表徴します。スマルナに在る召会は、苦難の召会でした——10 節。
- B. スマルナに在る召会への語りかけの中で、主はご自身のことを、「最初の者また最後の者、死んだが再び生きた者」と言いました——8 節：
1. キリストが最初の者また最後の者であるという事実は、彼が決して変わらないことを意味します。召会は苦難を受ける時、主が最初の者また最後の者、永遠に存在する変わることのない方であることを認識しなければなりません。
 2. 8 節の主の宣言は、創造（最初の者）と完成（最後の者）を暗示しています。それはまた、キリストの肉体と成ること、人の生活、十字架、復活を暗示しています：
 - a. この宣言は、スマルナに在る苦難の召会を強めます。スマルナに在る召会は、殉教を経験し、その苦難を受けていました。
 - b. 殉教の聖徒たちを支えることのできる唯一のものは、この方を見ることです。彼は、全宇宙を創造し、完成させる方であり、また肉体と成り、地上で生き、十字架につけられ、復活した方です。このようなビジョンは、殉教者を支えて苦難の中で立たせます——10 節。
 3. 死んだが再び生きた者として、キリストは生きている方です——8 節. 1:18：
 - a. 主イエスは死の苦しみを受けましたが、再び生きました。彼は死の中に入りましたが、死は彼を捕らえておくことはできませんでした。なぜなら、彼は復活であるからです——使徒 2:24. ヨハネ 11:25。
 - b. 「わたしは死んだが、見よ、永遠にわたって生きている」——啓 1:18：
 - (1) 復活は、死を経過してもなお生きている命です。
 - (2) キリストの復活は、彼の日々を長くすることです。彼は復活において永遠にわたって存在します。
 - c. 復活したキリスト（生きている方）は、わたしたちの中に、またわたしたちの間で生きています。ですから、すべての召会は彼が生きているように生き、命

に満ち、死に打ち勝つべきです—— I テモテ 3:15。

C. 死んだが再び生きた者として、キリストは死とハデス [陰府] のかぎを持っていません——啓 1:18 :

1. 主イエスは死に打ち勝ち、悪魔を滅ぼしました。死とハデス [陰府] のかぎは今、彼の手の中にあり、そして彼は墓に対して勝利を得ています——ヘブル 2:14. 啓 1:18。
2. 主イエスは復活の中で、死とハデス [陰府] の権威を取り去りました。死は彼の支配下にあり、ハデス [陰府] は彼の管理下にあります——18 節。

D. 「死に至るまで忠信であれ。そうすれば、わたしはあなたに命の冠を与える」——2:10 :

1. 主は彼に仕えるすべての者の命が彼に属することを要求します。こういうわけで、わたしたちは死に至るまでも忠信でなければならないのです。
2. 命の冠は、迫害に勝利し、死に至るまで忠信であった者に与えられる賞です。それは勝利の力、すなわち復活の命の力を示しています (ピリピ 3:10)。それはまた、これらの勝利者が、死人の中からの格別な復活 (11 節)、すなわち、際立った復活に達したことを示しています。

II. ギリシャ語で「ペルガモ」は、「結婚」(結合を暗示する)と「城壁を巡らした塔」を意味します。しるしとして、ペルガモに在る召会が予表しているのは、この世と結婚して結合し、そして高い城壁を巡らした塔となった召会です——啓 2:12-17 :

A. サタンの座はこの世にあります。この世はサタンの住む所であり、サタンが支配している領域です。この世的な召会がこの世との結合の中へと入ったので、召会はサタンの住む所に住んでいます——13 節。

B. 「勝利を得る者には、あの隠されたマナを与えよう。また白い石を与えよう。その石の上には、それを受ける者のほか、だれも知らない新しい名が記されている」——17 節 :

1. わたしたちは隠されたマナを食べて、神の幕屋としての新エルサレムの中へと合併される必要があります——ヨハネ 14:20. 啓 21:3。
2. 主は勝利者に、隠されたマナを食べさせることと、白い石を与えることを約束しました。このことが示しているのは、わたしたちは隠されたマナを食べるなら、神の建造のための白い石へと造り変えられるということです——2:17。
3. 造り変えられた信者はみな、白い石であり、それを受ける者のほか、だれも知らない新しい名を持っています：
 - a. そのような新しい名は、造り変えられていく人の経験を説明します。このゆえに、彼自身だけがその名の意味を知っているのです。
 - b. 啓示録第 2 章 17 節は、主がわたしたちに語った言葉です。わたしたちはそれを客観的に受け取るべきではなく、わたしたちの伝記として受け取るべきです。